

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

**最初のISS構成要素打上げから1453日経過しました
第5次長期滞在クルーのISS滞在は158日経過しました**

ソユーズ宇宙船、地球に帰還

10月30日（水）に打ち上げられたソユーズ宇宙船の3人の乗組員は9日間のISS滞在を終え、日本時間11月10日午前9時4分にカザフスタン共和国内に着陸しました。

ISSの緊急帰還機として使われているソユーズ宇宙船は宇宙での運用寿命が約6ヶ月であるため、定期的に新しいものと交換する必要があります。今回の乗組員は新しいソユーズ宇宙船をISSに送り届け、今年4月からISSにドッキングしていた古いソユーズ宇宙船で帰還しました。

ミッションに関する詳しい情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/5s/index.html>



ISSで実験を行ったソユーズ宇宙船のドイツ宇宙飛行士(EA)

ISS動向

第5次長期滞在クルーはソユーズ宇宙船の3人のクルーと共同でロシアやヨーロッパ宇宙機関（ESA）の科学実験を行いました。また、スペースシャトル・エンデバー号の到着準備を行うとともに、ISS内のシステムの保守・点検作業を行っています。現在のISSクルーはエンデバー号で地球に帰還します。

これからの予定（米国時間）

- ・11月18日以降 スペースシャトル・エンデバー号打上げ(アメリカ)
（ISSへP1トラスの取り付け、滞在クルーの交代）

スペースシャトル・エンデバー号、打上げ延期

日本時間11月11日に予定されていたエンデバー号の打上げは、船室内へ酸素を供給する配管から酸素漏れが発見されたため、日本時間11月19日以降に延期されました。

今回のミッションではP1（ピーワン）トラスと第6次滞在クルーをISSへ運びます。

ミッションに関する詳しい情報は下記URLをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/iss/11a/index.html>



打上げを待つエンデバー号
（11月10日）

“今週の「きぼう」”

船外活動手順開発試験を実施中

現在筑波宇宙センターの無重量環境試験棟で「きぼう」船内実験室および宇宙ステーション補給機（HTV）に関する船外活動手順開発試験が行われています。「きぼう」組立時などには船外活動が行われます。この試験では予め考えられた船外活動のやり方を宇宙で無理なく行えるか、水の浮力を利用した模擬無重力の中で確認するものです。今回の試験ではHTV曝露パレットが「きぼう」の船外実験プラットフォームにドッキングした際に、ロボットアームの故障などで宇宙飛行士が船外活動を行う必要が生じた場合を想定したものです。この試験にはNASDAの土井・若田各宇宙飛行士とNASAのパラジンスキー宇宙飛行士が参加して11月下旬まで行われます。また引き続き星出・古川両宇宙飛行士が船外活動訓練を行います。



試験を行う土井宇宙飛行士

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 0298-68-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。